

教育を受けられるありがたさ

長岡市立東中学校

三年 瀧澤 友理

私は今まで、教育を受けられることは、当たり前のことだと思っていました。しかし、二〇一四年にノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさんのスピーチや本を読み、世界には教育を受けられない子供がたくさんいると分かりました。

日本の子供は、みんなが教育を受けられます。それは、税金があるおかげです。多くの税金は教育費に使われ、小学校と中学校は義務教育です。私は、小・中学校共に公立の学校です。校舎の建設から、机や椅子、教科書まで、あらゆるものが税金によってそろえられています。そのため、小学生の年間教育費は、約八十六万二千円です。また、中学生の年間教育費は、約九十八万四千円です。これが、義務教育の九年間になると、一人あたり一千八百四十六万八千円になります。数字で見ると改めて、どれだけ税金に支えられているのかがよく分かります。

私は、新潟県長岡市立東中学校に通っています。ここは、全国でも珍しい、教科教室型の校舎です。教科の広場によって、興味がある学習をより深めたり、学習プリントを活用して苦手をなくしたりすることができます。また、毎時間移動

するので、あいさつをする機会も増え、他学年との交流も深まります。さらに、ガラス張りになっているところが多く開放感あふれる校舎なので、伸び伸びと学校生活を送ることができます。

このような、素晴らしい校舎があるのも、税金のおかげです。私は、週四日ある清掃のとき、二つのことを意識しています。一つは、感謝の気持ちを込めること、もう一つは、長年美しく保てるようにすることです。税金によって建設された校舎を大切に、丁寧に掃除をしています。

その他にも、たくさんものに税金が使われています。感謝の気持ちを忘れず、大切に使うていきたいです。

もし、日本に税金の制度がなかったら、私は学校に行けなかったでしょう。こんなにも素晴らしい環境で教育を受けられるのは税金の制度があるからです。今までは、税金なんて払いたくないと思っていましたが、身近な生活の中でこんなにも税金に支えられていることを知り、税金の制度は、とても良いものだと思います。国民一人ひとりが、国民一人ひとりを支えることは、素敵だと感じます。私も国民の一人として、しっかりと税を納めます。また、この恵まれた環境の中で教育を受けられることに感謝していききたいです。教育を受けられるありがたさを念頭に置き、一生懸命勉強に励んでいきます。

私は今まで、あまり税金について興味がなかったのですが、今回の作文を書くにあたって税金のことを知る良い機会となりました。さらに、税金についてもっと詳しく知りたいたと思います。これから、税金について考えていきたいです。